



蒙古襲来絵詞(模本・部分) 上巻 江戸時代 埼玉県立歴史と民俗の博物館 \*巻き替えあり



茨城県指定 秋田泰盛奉書 鎌倉時代 茨城・鹿島神宮(茨城県立歴史館寄託) \*展示期間: 8月19日~9月17日



蒙古襲来絵詞(模本・部分) 中巻 江戸時代 埼玉県立歴史と民俗の博物館 \*巻き替えあり



国宝 北条顯時像(部分) 鎌倉時代 神奈川・称名寺



国宝 足利義満書状 南北朝時代 神奈川・称名寺



重要文化財 厨子入金銅製聖明王坐像 鎌倉時代 神奈川・称名寺



The Adachi Family and Kamakura Shogunate

御家人が語る もうひとつの鎌倉時代史



埼玉県指定 伝安達藤九郎盛長坐像 南北朝時代 埼玉・放光寺 \*展示期間: 8月19日~9月17日

※文化財保護のため会期中一部展示替があります。詳しくはホームページでご確認ください。

安達泰盛(1231~85)は、文永・弘安の蒙古襲来のさなかに鎌倉幕府の重役をつとめ、絶大な権力を握ります。安達氏は、始祖にあたる盛長が源頼朝の側近として活躍して以来、景盛・義景・泰盛とつづきます。歴代「秋田城介」を名乗り、御家人の筆頭として幕政の頂点に立ち、幕府政治の中枢を占めました。鎌倉幕府の有力御家人である安達氏は、鎌倉における真言密教の定着と展開に深く関わっていました。蒙古襲来に際して、鎌倉幕府は武力を総動員する一方で、神仏の力も集結させ、ことにあたります。とくに真言密教の力をたのむところが大きかったことが、国宝「称名寺聖教・金沢文庫文書」など称名寺に伝わる資料の数々からうかがえます。蒙古襲来という国難にあたり、政治・宗教の両面において重要な役割を果たした安達氏ですが、蒙古襲来が一段落し、北条時宗が世を去ったのち、内管領平頼綱との対立によって、安達一族は滅亡します。鎌倉幕府の重要な転換点をなす安達泰盛とその時代を中心に、鎌倉幕府の動向と、鎌倉に根付いた真言密教のかかわりについて、ゆかりの文化財から考えていきます。

関連行事 (事前申込み制/お申込みは各回ごとにお願ひします。)

◆特別講演会

- ① 9月16日(日) 村井 章介氏(立正大学教授) 「安達泰盛と北条得宗―「弘安徳政」をどうみるか」

◆開館記念特別講演会

- ② 8月19日(日) 湯山 賢一(神奈川県立金沢文庫長) 「武家文書の料紙(仮)」

◆連続講座

- ③ 7月21日(土) 貫井 裕恵(神奈川県立金沢文庫学芸員) 「鎌倉幕府と真言密教―安達一族を通じて―」
- ④ 8月4日(土) 松吉 大樹氏(NPO法人鎌倉考古学研究所) 「鎌倉御家人の屋敷を考える―出土木札を手掛かりに―」
- ⑤ 8月11日(土) 梅沢 恵(神奈川県立金沢文庫主任学芸員) 「描かれた安達一族のイメージを読む」
- ⑥ 9月1日(土) 宮崎 肇氏(東京大学史料編纂所) 「筆跡の政治史―文字から見た鎌倉時代の政事と文事―」

◆国宝・金沢文庫文書に親しむ講座

- ⑦ 9月15日(土) 貫井 裕恵 「安達一族と鎌倉幕府関係史料を読む」

◇時間 特別講演会・開館記念特別講演会は13:30~15:30、それ以外は13:30~15:00

◇会場 神奈川県立金沢文庫 地下大会議室

◇受講料 無料(ただし当日の観覧券が必要です)

◇定員 100名(応募多数の場合は抽選)

◇申込方法

当文庫HPの「講座申込フォーム」、または往復はがき(お一人様1講座1通まで)に、講演会・講座名(開催日)、住所、氏名、電話番号を明記の上、①9月2日 ②8月5日 ③7月8日 ④7月22日 ⑤7月29日 ⑥8月19日 ⑦9月2日 必着でお申込みください。

休館日 毎週月曜日(ただし9/17(月・祝)は開館)

開館時間 午前9時~午後4時30分(入館は閉館の30分前まで)

観覧料 ( )内は20名以上の団体料金

20歳以上 600円 (500円)

20歳未満・学生 500円 (400円)

65歳以上 200円 (100円)

高校生 100円

中学生以下、障がい者は無料

交通のご案内

京急線「金沢文庫駅」東口より徒歩12分(快特で品川駅より33分、横浜駅より16分)シーサイドライン「海の公園南口駅」より徒歩10分(JR根岸線「新杉田駅」接続)



次回予告 平成30年 9月11日(日) 9月22日(土) 特別展 西湖憧憬

神奈川県立金沢文庫

〒236-0015 横浜市金沢区金沢町142 TEL: 045-701-9069 FAX: 045-788-1060 http://www.planet.pref.kanagawa.jp/city/kanazawa.htm

